

# Jabber for Android – クイックスタートガイド

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[ソフトウェア要件](#)

[ハードウェア要件](#)

[電話サービスの設定](#)

[Jabber Softphone](#)

[ボイスメールの設定](#)

[Unity Connectionの設定](#)

[CUCM の設定](#)

[ディレクトリの設定](#)

[LDAPディレクトリサービス](#)

[UDSディレクトリサービス](#)

[CUCMエンドユーザの設定](#)

[サービスディスカバリ](#)

[Cisco Jabberのダウンロードとインストール](#)

[Jabberへのログイン](#)

## 概要

このドキュメントでは、基本機能を備えたCisco Jabber for Androidの正常な導入に必要な手順について説明します。これはクイックスタートガイドであり、Cisco Jabber for Androidでサポートされている高度な機能については説明しません。

## 前提条件

Cisco Unified Communications Manager(CUCM)の管理Webページと、基本的な電話設定の経験に関する基本的な知識があることが推奨されます。

## ソフトウェア要件

このガイドでは、次のソフトウェアバージョンが使用されていることを前提としています。

- Cisco Unified Communications Manager(CUCM)バージョン10.5(2)以降
- Cisco Unified IM and Presence(IM&P)バージョン10.5(2)以上。
- Cisco Unity Connection(CUXN)バージョン10.5以降
- Jabber for Android 12.1以降。
- Androidオペレーティングシステム4.4以降

## ハードウェア要件

次のハードウェア仕様は、AndroidオペレーティングシステムでCisco Jabber for Androidを実行するための推奨最小要件です。

- CPU 1.5 GHzデュアルコア1.2 GHzクアッドコア以降
- Display  
双方向ビデオの最小表示解像度は480 x 800です。IMの最小表示解像度は320 x 480です。

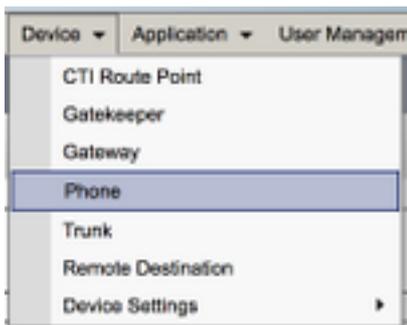
**注:**Cisco Jabber for Androidは、IntelチップセットまたはTegra 2チップセット搭載のAndroidデバイスをベースとするAndroidデバイスではサポートされていません

## 電話サービスの設定

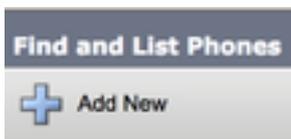
### Jabber Softphone

Jabber for Androidには、Cisco Dual Mode for Androidデバイスを通じて電話サービスを提供するオプションがあります。Cisco Dual Mode for Androidデバイスは、BOTまたはソフトフォンと呼ばれることがよくあります。

BOTデバイスを設定するには、CUCM Administration Webページにログインし、[Device] > [Phone]に移動します。



[電話の検索と一覧表示(Find and List Phones)]メニューから[新規追加(Add New)]を選択します。



[新しい電話の追加]メニューで、[Cisco Dual Mode for Android]デバイスタイプの電話タイプドロップダウンを検索します。選択したら、[次へ]をクリックします。



次の表 (表1.0) には、CUCMでCisco Dual Mode for Android(BOT)デバイスを設定する際に設定する必要があるすべてのフィールドが記載されています。ほとんどの必須フィールドにはデフォルト設定が含まれており、導入に特に必要がない限り、手動で設定する必要はありません。次の表の「デフォルトで構成」列が「NO」に設定されているすべてのフィールドを手動で構成する必

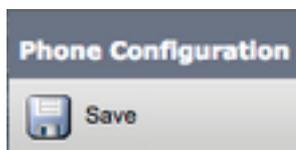
必要があります。

ヒント:AndroidデバイスのすべてのCisco Dual Mode for AndroidデバイスにBOTのデバイス名プレフィックスを設定することをお勧めします。たとえば、Holly Dayという名前のユーザにBOTデバイスをプロビジョニングします。彼女のCUCMエンドユーザIDはhdayなので、彼女のBOTデバイス名はBOTHDAYになります。

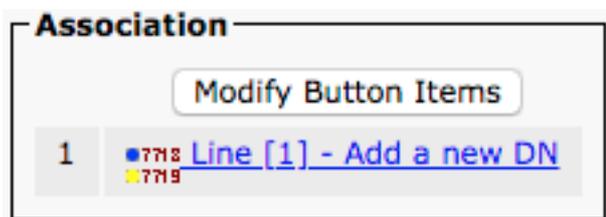
表 1.0

必須フィールド	デフォルトパラメータ
Device Name	デバイス名はBOTで始める必要があります。
Device Pool	使用可能なデバイスプールのいずれかを選択する必要があります。
電話の押しボタンのテンプレート 共通の電話プロファイル	標準クライアントサービスフレームワーク 標準共通電話プロファイル
場所	Hub_None
ビルトインブリッジ	デフォルト
Privacy	デフォルト
デバイス モビリティモード	デフォルト
所有者ユーザID	ユーザIDの設定
信頼できるリレーポイントの使用 常にプライマリ回線を使用	デフォルト
ボイスメッセージに常にプライム回線を使用する パケットキャプチャモード	デフォルト なし
BLFプレゼンスグループ	標準プレゼンスグループ
デバイスセキュリティプロファイル	手動で選択する必要があります。
SIP プロファイル 証明書の操作 DNDオプション	手動で選択する必要があります。 保留中の操作はありません コール拒否

BOT構成の必須フィールドをすべて構成したら、[保存]ボタンを選択して構成を保存します。



これでBOTを作成したので、デバイスに電話番号を追加する必要があります。これは、BOT構成の左上にある[Add a new DN]オプションを選択することで行えます。



注：このドキュメントでは、BOTデバイスの完全な回線設定については説明しません。回線設定は、すべての電話機に対して実行する必要がある標準設定であり、BOTデバイスに固有

の設定ではありません。

ヒント：電話番号を設定したら、BOTデバイスでCUCMエンドユーザを電話番号に関連付けます。これは、電話番号の設定の下部までスクロールし、[エンドユーザの関連付け (Associate End Users)]を選択することで行えます。この設定は、Jabber for phone presenceを使用する場合に必要です。

## ボイスメールの設定

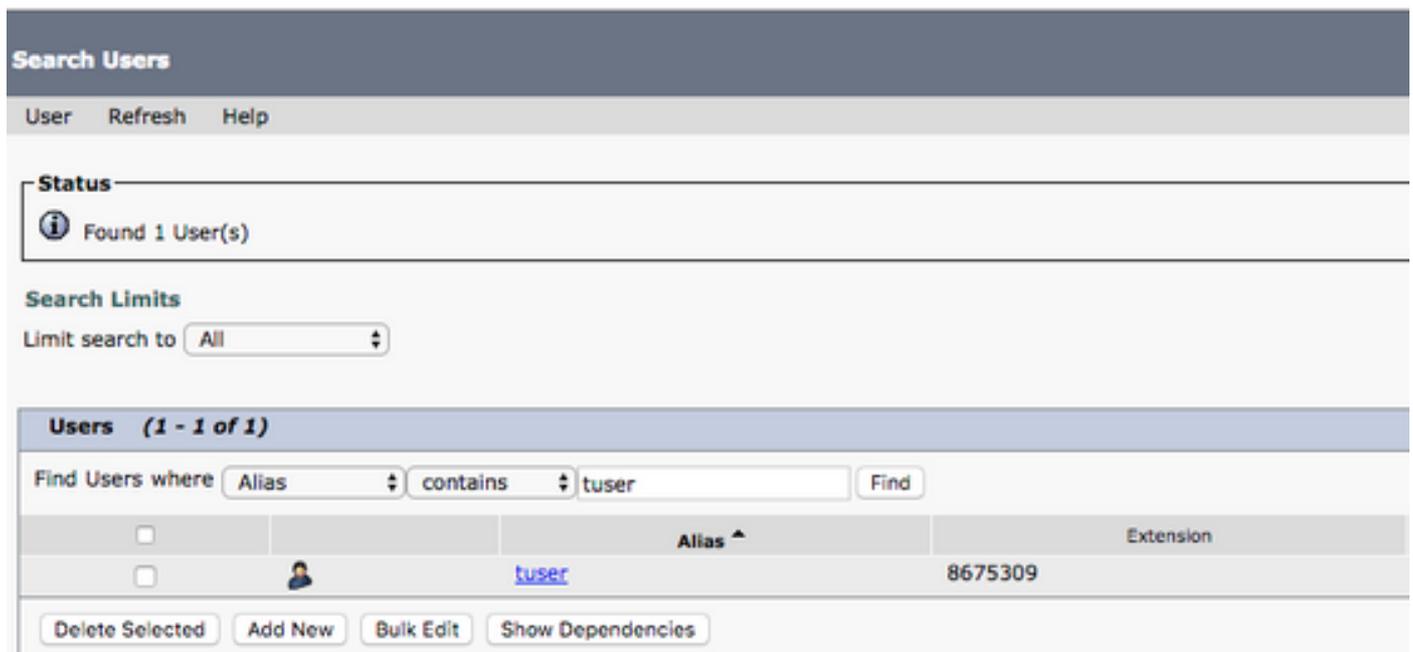
Jabber for Androidは、Cisco Unity Connectionに保存されているボイスメールメッセージを取得および再生できません。Jabber for Androidのボイスメールを設定するには、次の手順に従います。

### Unity Connectionの設定

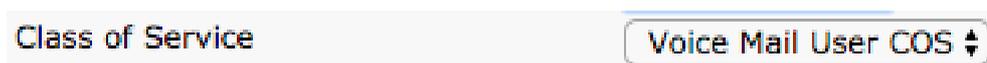
まず、Cisco Unity Connection Web管理Webページにログインし、[Users] > [Users]に移動します。



[Search Users]ページが表示されたら、Jabber for Androidユーザメールボックスを検索して選択します。



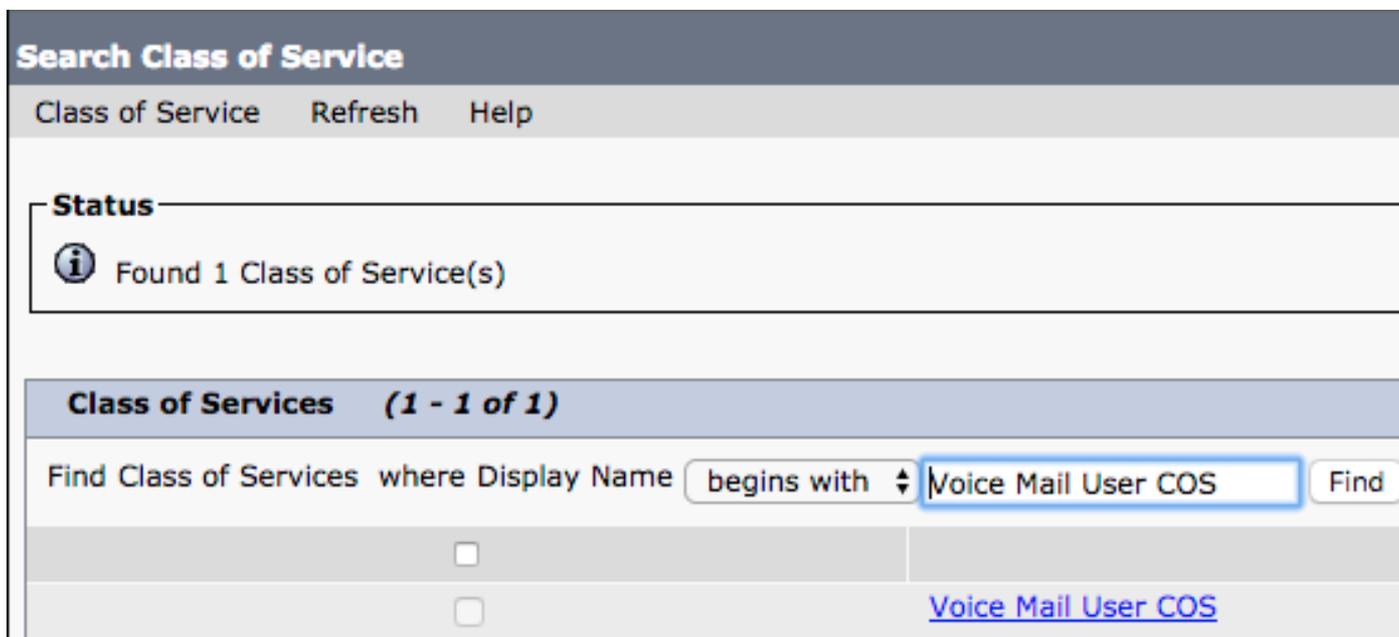
ユーザのメールボックスの[Edit User Basics]ページが表示されたら、設定されたCalls of Serviceを示します。



左側のナビゲーション・ペインで、[Class of Service] > [Class of Service]に移動します。



[Search Class of Service]ページが表示されれば、先ほど説明したサービスクラスを検索して選択します。



[Edit Class of Service]ページで、次の項目を確認します。

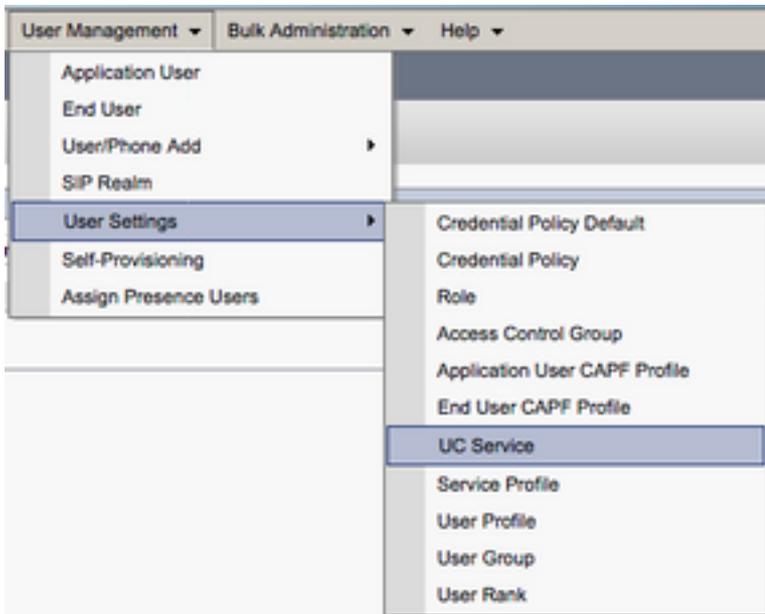
1. [ユーザーにWeb受信トレイとRSSフィードの使用を許可する]機能のチェックボックスがオンになっていることを確認します。
2. また、機能名の近くのボックスをオンにして、[Allow Users to Use Unified Client to Access Voicemail]機能が有効になっていることを確認します。

サービスクラスの設定が確認されたら、左側のナビゲーションペインで[System Settings] > [Advanced] > [API Settings]に移動します。API構成ページに表示される3つの設定をすべて有効にします。

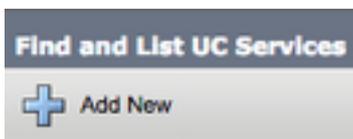


## CUCM の設定

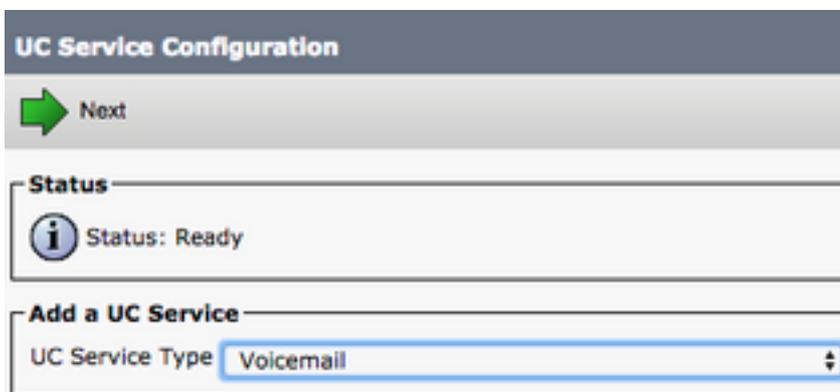
Unity Connectionがセットアップされたら、Jabber for AndroidボイスメールのCUCM設定に進みます。まず、[ユーザ管理(User Management)] > [ユーザ設定(User Settings)] > [UCサービス(UC Service)]に移動します。



[UCサービスの検索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[新規追加(Add New)]を選択します。



[UC Service Configuration]ページが表示されたら、[UC Service Type]ドロップダウンから[VoiceMail]を選択し、[Next]を選択します。



UCサービス構成ページが表示されます。最初に、[Product Type]ドロップダウンから[Unity Connection]を選択します。また、ボイスメールUCサービスの名前を設定し、RESTおよびJettyservicesを実行しているUnity ConnectionサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定する必要があります。

### UC Service Configuration

Save

**Status**

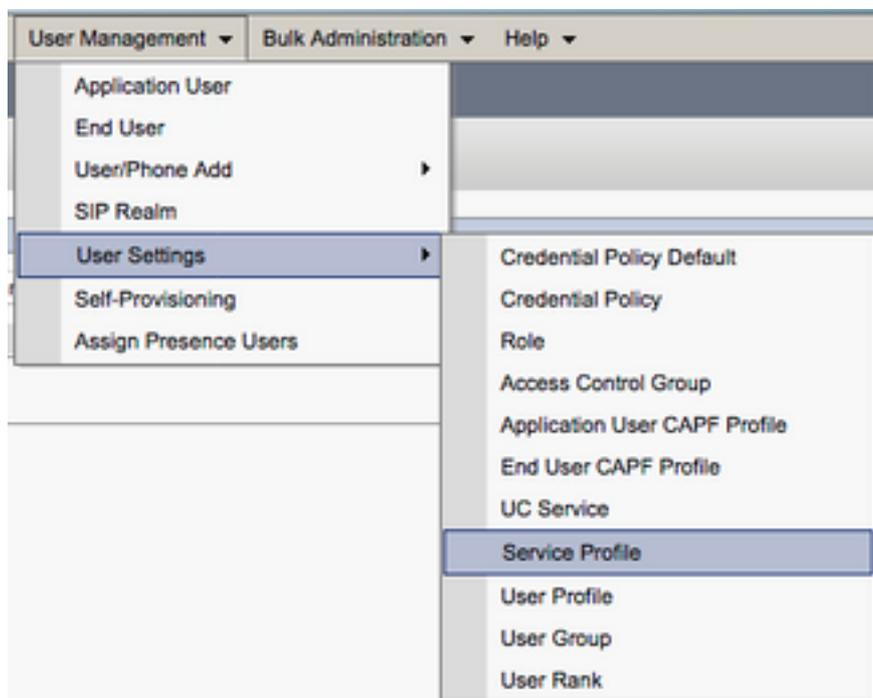
Status: Ready

**UC Service Information**

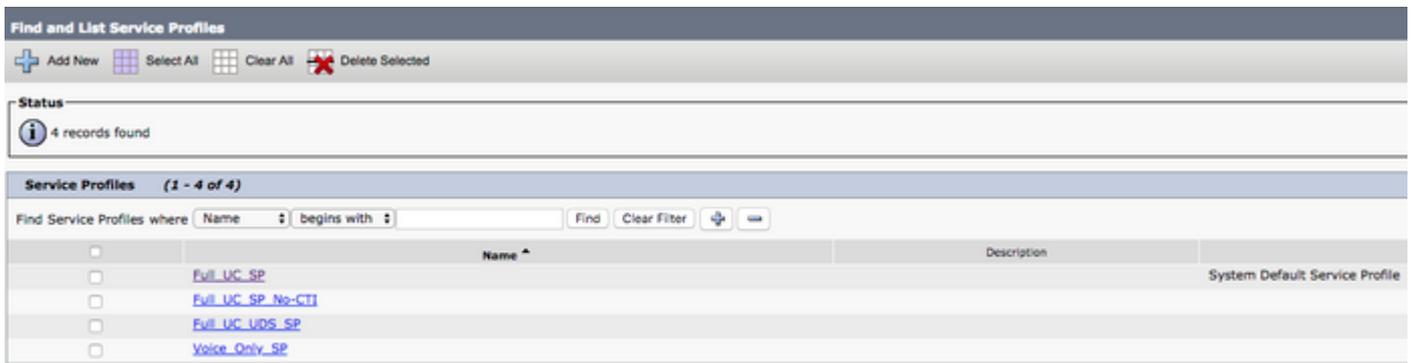
<b>UC Service Type:</b>	<b>Voicemail</b>
Product Type*	Unity Connection
Name*	CUXN-Sub-01
Description	Unity Connection Subscriber 1
Host Name/IP Address*	CUXN-SUB-01.testlab.com
Port	443
Protocol	HTTPS

注：UCサービスプロファイルには、最大3つのボイスメールUCサービスを割り当てることができます。

ボイスメールUCサービスが定義されたら、サービスプロファイルに割り当てます。まず、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Androidユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[Service Profile Configuration] ページで、[Voicemail Profile]セクションまで下にスクロールして、[Voicemail UC Service(s)]をサービスプロファイルに割り当て、[Save]を選択します。



注：上記のJabber for Androidのセットアップでは、Unity ConnectionでLDAP認証が使用されていると想定しています。メールボックスがLDAPに統合されていない場合は、『Cisco On-Premises Deployment Guide』を参照してください。

## ディレクトリの設定

Jabber for Androidは、企業の連絡先を解決するためのディレクトリサービスに依存します。Jabberは、Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)またはCUCM User Data Services(UDS)を使用してディレクトリ解決を実行できます。Jabber for AndroidのLDAPまたはUDSディレクトリサービスの設定に関しては、次のセクションを参照してください。

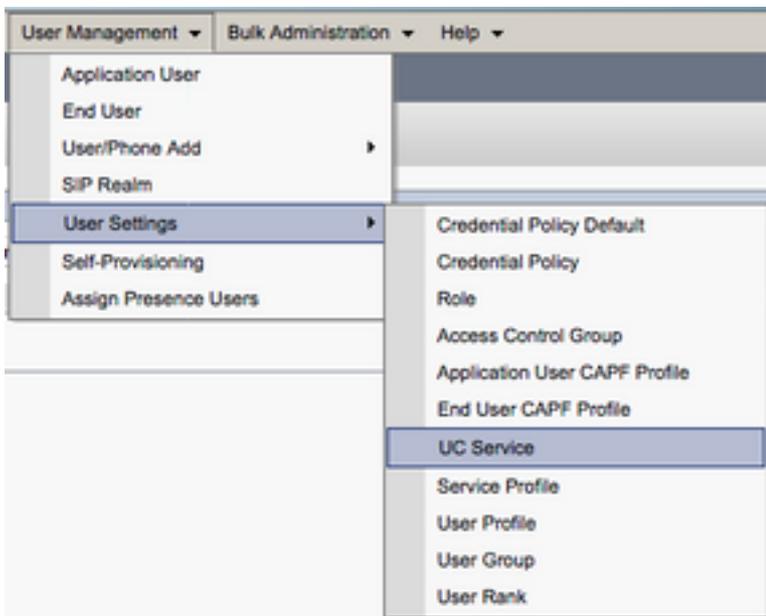
### LDAPディレクトリサービス

Jabber for Androidは、次に示す3つの既知のLDAPディレクトリサービスをサポートしています。

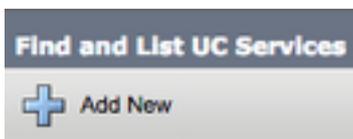
- Active Directoryドメインサービス
- OpenLDAP
- Active Directoryライトウェイトディレクトリサービス(AD LDS)

このガイドでは、Jabber for Android 12.1以降をActive Directoryドメインサービスと統合するように設定する手順について説明します。これは一般的な統合です。

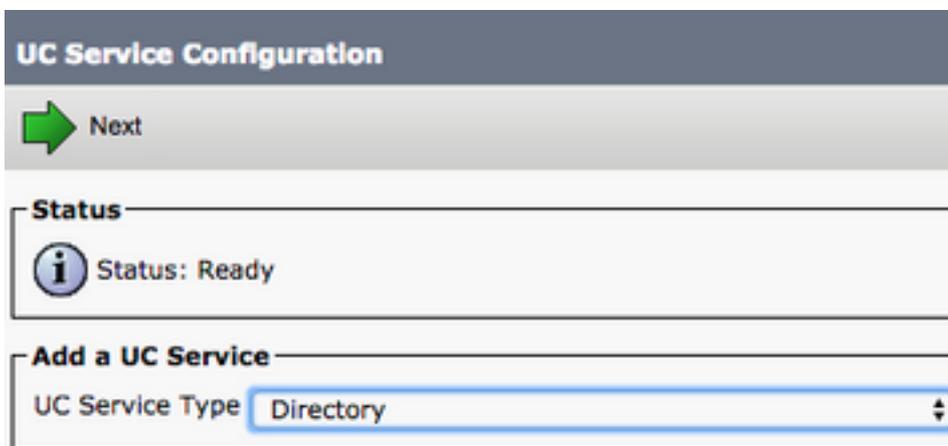
まず、CUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [User Settings] > [UC Service]に移動します。



[UCサービスの検索と一覧表示(Find and List UC Services)]ページで、[新規追加(Add New)]を選択します。



[UC Service Configuration]ページが表示されたら、[UC Service Type]ドロップダウンから[Directory]を選択し、[Next]を選択します。



UCサービス構成ページが表示されます。[製品タイプ]ドロップダウンから[拡張ディレクトリ]を選択します。また、ディレクトリUCServiceの名前を設定し、ディレクトリサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定する必要があります。

既定では、[接続の種類]は[グローバルカタログ]に設定されます。この場合、Microsoftドメインコントローラがディレクトリソースとして使用されていると仮定します。グローバルカタログサーバが使用中の場合は、構成内のポート番号を3268に設定する必要があります。シスコでは、クエリをより効率的に解決するため、グローバルカタログサーバをディレクトリリソースとして使用することを推奨しています。

**ヒント** : Microsoft Active Directoryドメインサービスのドメインコントローラを使用していない場合は、ディレクトリUCサービスの[Port]を[389 to Connection Type]を[Ldap]に設定する必要があります。

**UC Service Information**

**UC Service Type:** **Directory**

Product Type\*

Name\*

Description

Host Name/IP Address\*

Port

Protocol

Connection Type\*

Use Secure Connection

Use Wildcards

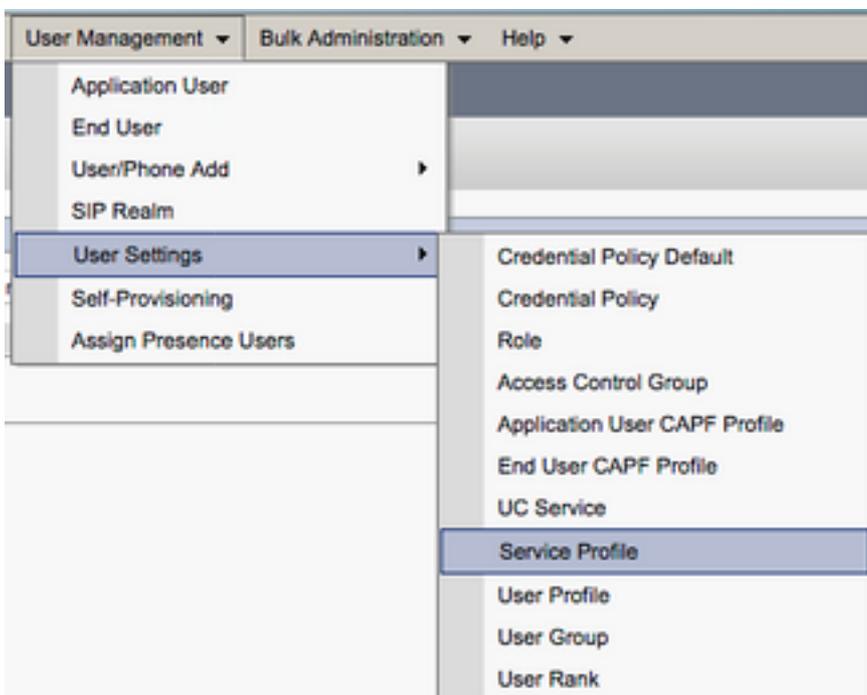
Disable Secondary Number Lookups

Uri Prefix

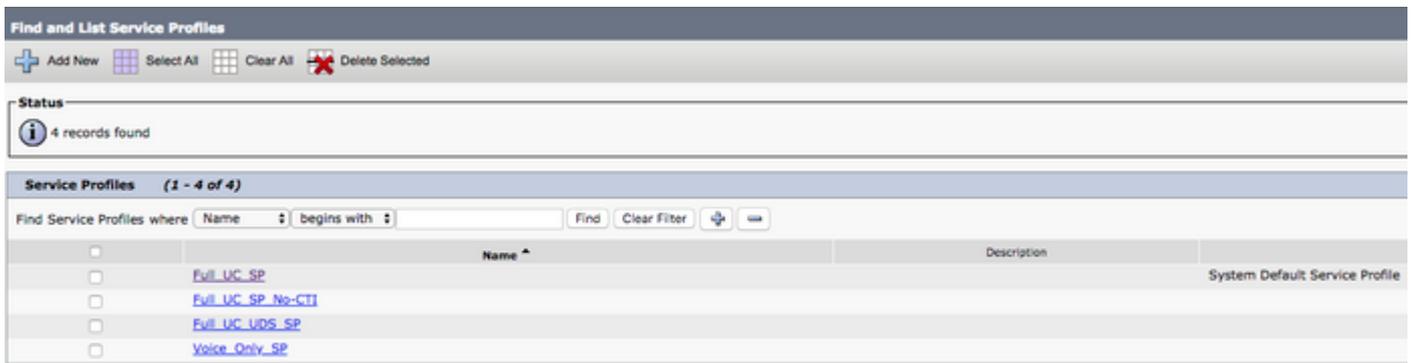
Phone Number Masks

注：UCサービスプロファイルに割り当てられるディレクトリUCサービスは、最大3つまで設定できます。

ディレクトリUCサービスが定義されたら、それらをサービスプロファイルに割り当てます。まず、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Androidユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[サービスプロファイルの設定(Service Profile Configuration)]ページで、[ディレクトリプロファイル(Directory Profile)]セクションまで下にスクロールし、ディレクトリUCサービスをサービスプロファイルに割り当てます。また、Active Directoryの検索ベースを定義する必要があります。これは、企業ユーザが存在する組織単位またはディレクトリである必要があります。

[ディレクトリプロファイル]セクションを構成する際には、ディレクトリ認証方法も構成する必要があります。匿名クエリを防ぎ、Jabberログイン時に入力した資格情報でJabberを認証するように設定します。はディレクトリサーバへの匿名アクセスを試みます。匿名ディレクトリへのアクセスは、シスコでは推奨しません。

ディレクトリ・プロファイルの構成が完了したら、「保存」を選択します。

注：CUCM 10.X - 11.5.Xを使用している場合、サービスプロファイルの[Directory Profile]セクションには、LDAPサーバでクエリを実行する権限のあるユーザIDとして識別名を使用できるユーザ名およびパスワードフィールドも含まれます。CUCM 12.Xで、ディレクトリサービスの認証に単一のユーザIDを使用する場合は、jabber-config.xmlのConnectionUsernameおよびConnectionPasswordパラメータを使用する必要があります。

**Directory Profile**

Primary

Secondary

Tertiary

[Use UDS for Contact Resolution](#)

[Use Logged On User Credential](#)

[Search Base 1](#)

[Search Base 2](#)

[Search Base 3](#)

[Recursive Search on All Search Bases](#)

[Search Timeout \(seconds\)\\*](#)

[Base Filter \(Only used for Advance Directory\)](#)

[Predictive Search Filter \(Only used for Advance Directory\)](#)

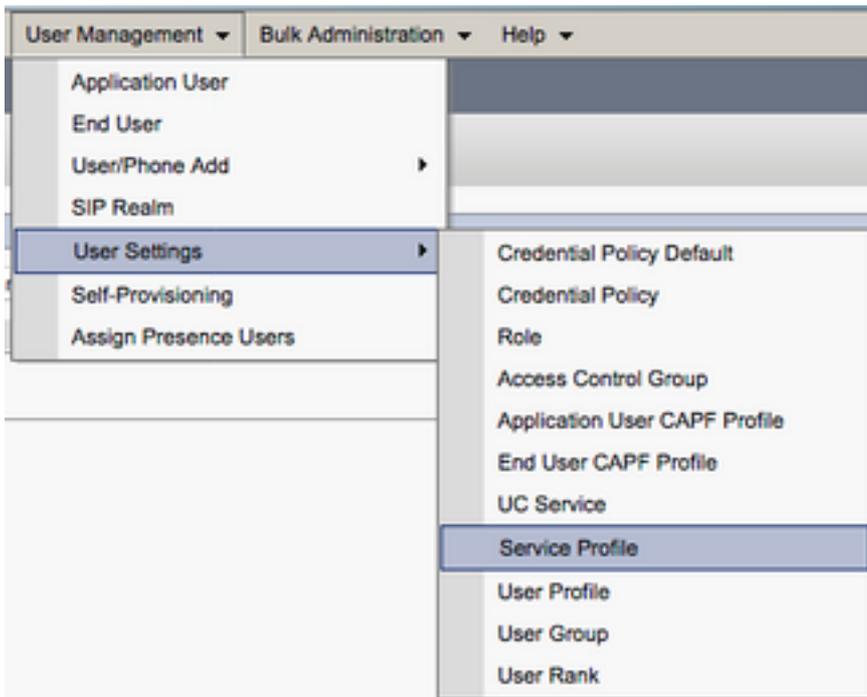
[Allow Jabber to Search and Add Security Groups](#)

注意: Cisco Jabberはさまざまな属性を使用して連絡先ソースに照会します。これらの属性のすべてがデフォルトでインデックス付けされているわけではありません。Cisco Jabberで使用される属性を効率的に検索するには、ディレクトリサーバでインデックスを作成する必要があります。詳細については、『Jabber計画ガイド』の「LDAPの前提条件」セクションを参照してください。

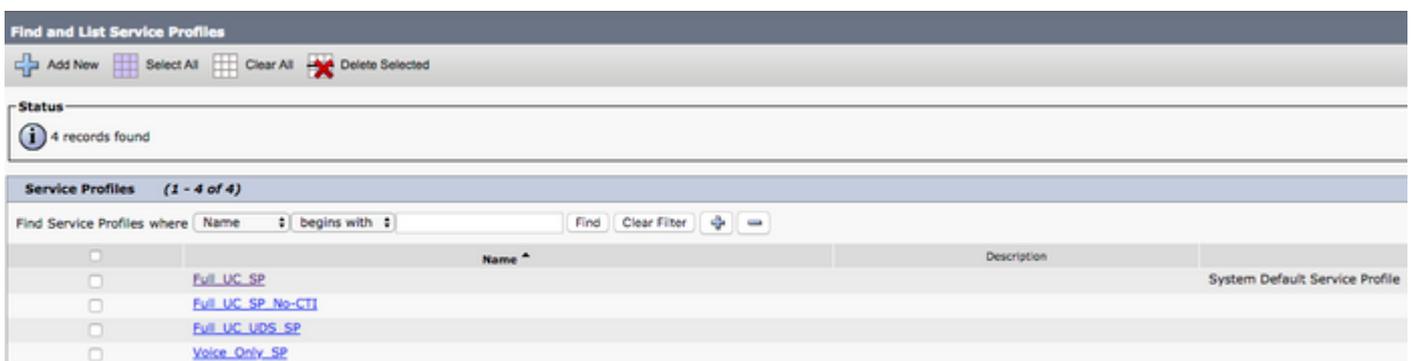
## UDSディレクトリサービス

CUCM User Data Services(UDS)は、Cisco Expresswayモバイルおよびリモートアクセスを介して連絡先を解決するためにJabberで使用できる連絡先ソースAPIを提供します。UDS連絡先ソースは、Unified CMエンドユーザテーブル情報を使用して解決します。

まず、CUCM Administration Webページにログインし、[User Management] > [User Settings] > [Service Profile]に移動します。



[サービスプロファイルの検索と一覧表示(Find and List Service Profiles)]メニューから、Jabber for Androidユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、[新規追加(Add New)]を選択して新しいサービスプロファイルを作成します。



[サービスプロファイルの設定]ページで、ディレクトリ [プロファイル]セクションで、[連絡先の解決にUDSを使用]チェックボックスをオンにし、[保存]を選択します。

**Directory Profile**

Primary <None> ▾  
 Secondary <None> ▾  
 Tertiary <None> ▾

Use UDS for Contact Resolution  
 Use Logged On User Credential

Search Base 1   
 Search Base 2   
 Search Base 3

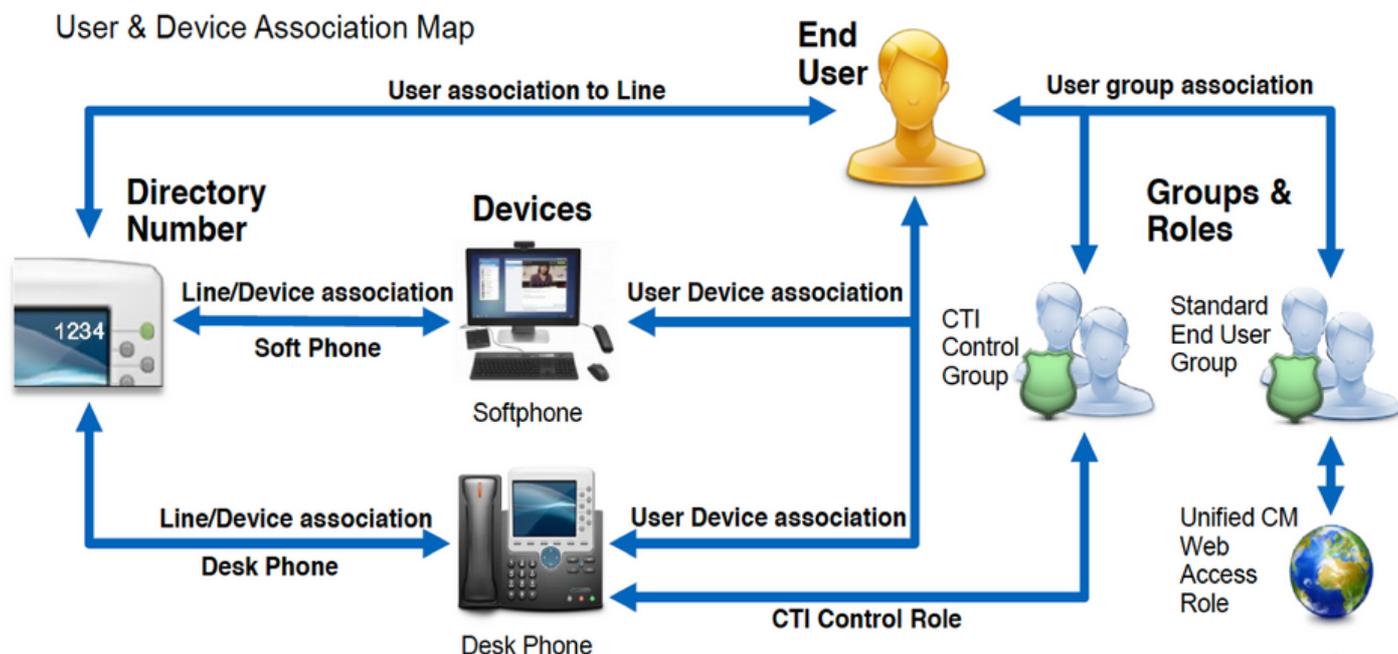
Recursive Search on All Search Bases  
 Search Timeout (seconds)\*   
 Base Filter (Only used for Advance Directory)   
 Predictive Search Filter (Only used for Advance Directory)

Allow Jabber to Search and Add Security Groups

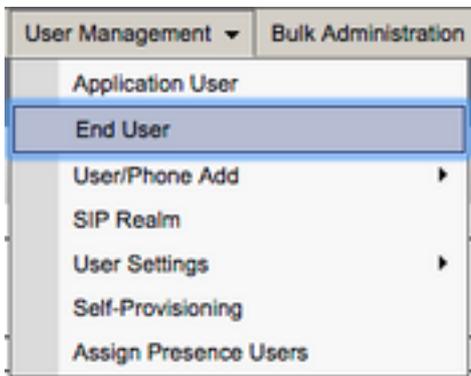
サービスプロファイルでUDSが有効になると、Jabber for AndroidはJabberのログインプロセス中にCUCM UDSサーバを自動的に検出します。

## CUCMエンドユーザの設定

CUCMエンドユーザの設定は、Jabber for Androidの導入において重要なステップです。多くのJabber機能はこの設定に依存しています。次の図は、CUCMエンドユーザの設定に依存するすべてのJabber設定を示しています。



Jabber for Android CUCMのエンドユーザを設定するには、まずCUCM Administration Webページにログインし、[ユーザ管理(User Management)] > [エンドユーザ(End User)]に移動します。



[ユーザの検索と一覧表示(Find and List Users)]メニューで、Jabber for Androidに設定するCUCMエンドユーザを検索して選択します。

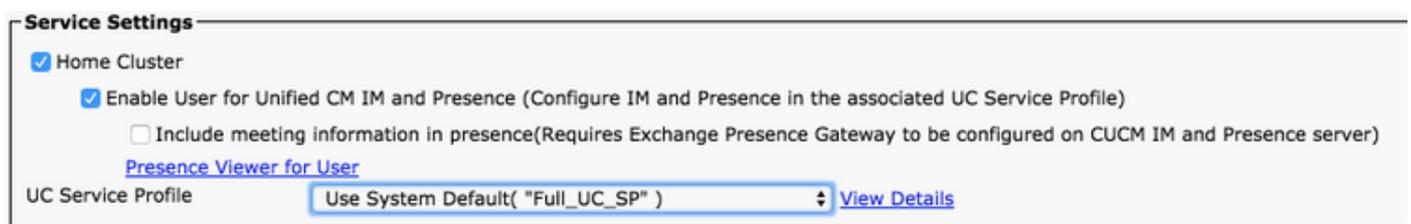


[エンドユーザーの設定Web]ページで[サービスの設定]セクションまで下にスクロールして、使用するサービスをエンドユーザに割り当てることができます。ユーザがJabber for Androidにログインできるようにするには、サービス名の横にあるチェックボックスをオンにしてホームクラスタサービスを有効にする必要があります。

Jabber for Androidをインスタントメッセージングに使用するエンドユーザは、[Unified IM and Presenceのユーザを有効にする(Enable User for Unified IM and Presence)]というフィールドの横にあるチェックボックスをオンにして、サービスを有効にする必要があります。

次に、[UC Service Profile]ドロップダウンからサービスプロファイルを選択して、サービスプロファイルを割り当てます。サービスプロファイルは、JabberクライアントにCUCM UCサービス設定を提供するために使用されます。

注：サービスプロファイルをCUCMエンドユーザに割り当てない場合、ユーザはシステムのデフォルトサービスプロファイルとして設定されたサービスプロファイルを自動的に使用します。



次に、[Device Information]セクションまで下にスクロールします。ここでは、CUCMエンドユーザが制御するデバイスを管理できます。ユーザにソフトフォン(BOT)を割り当てます。CUCMは、Jabberログイン中にJabber for Androidにこのデバイスのリストを提供します。



[デバイスの関連付け]ボタンを選択すると、デバイスをユーザに割り当てることができます。次に、[ユーザデバイスの関連付け(User Device Association)]メニューが表示されます。ここから、CUCMエンドユーザデバイスを検索できます。デバイスが見つかったら、そのデバイスの横にあるチェックボックスにチェックマークを付け、[選択した変更を保存]を選択します。



次に、[Directory Number Association]セクションまで下にスクロールし、[Primary Extension]ドロップダウンから[CUCM end users primary extension]を選択します。



次に、[権限情報]セクションまでスクロールします。ここでは、Jabber for Androidに必要な権限を割り当てます。

次の表(表1.1)に、必要なすべてのロール、その権限、およびJabberにロールの割り当てが必要な理由を示します。

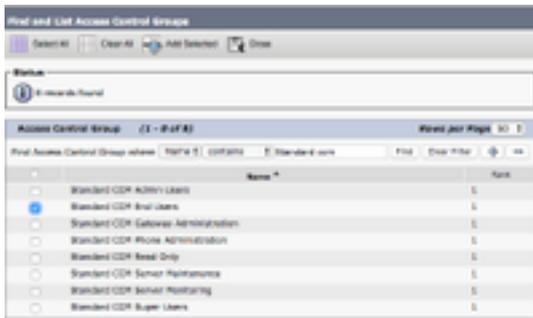
表 1.1

ロール	特権/リソース	Jabberロール
標準CCMエンドユーザ	Cisco Unified CMユーザオプションにエンドユーザのログイン権限を付与します。	Jabber SOA
標準CCMUSER管理	Cisco Unified CMユーザオプションへのアクセスを許可します。	Jabber SOA [Authentication]

CUCMエンドユーザに権限グループを割り当てるには、[アクセスコントロールグループに追加(Add to Access Control Group)]ボタンを選択します。



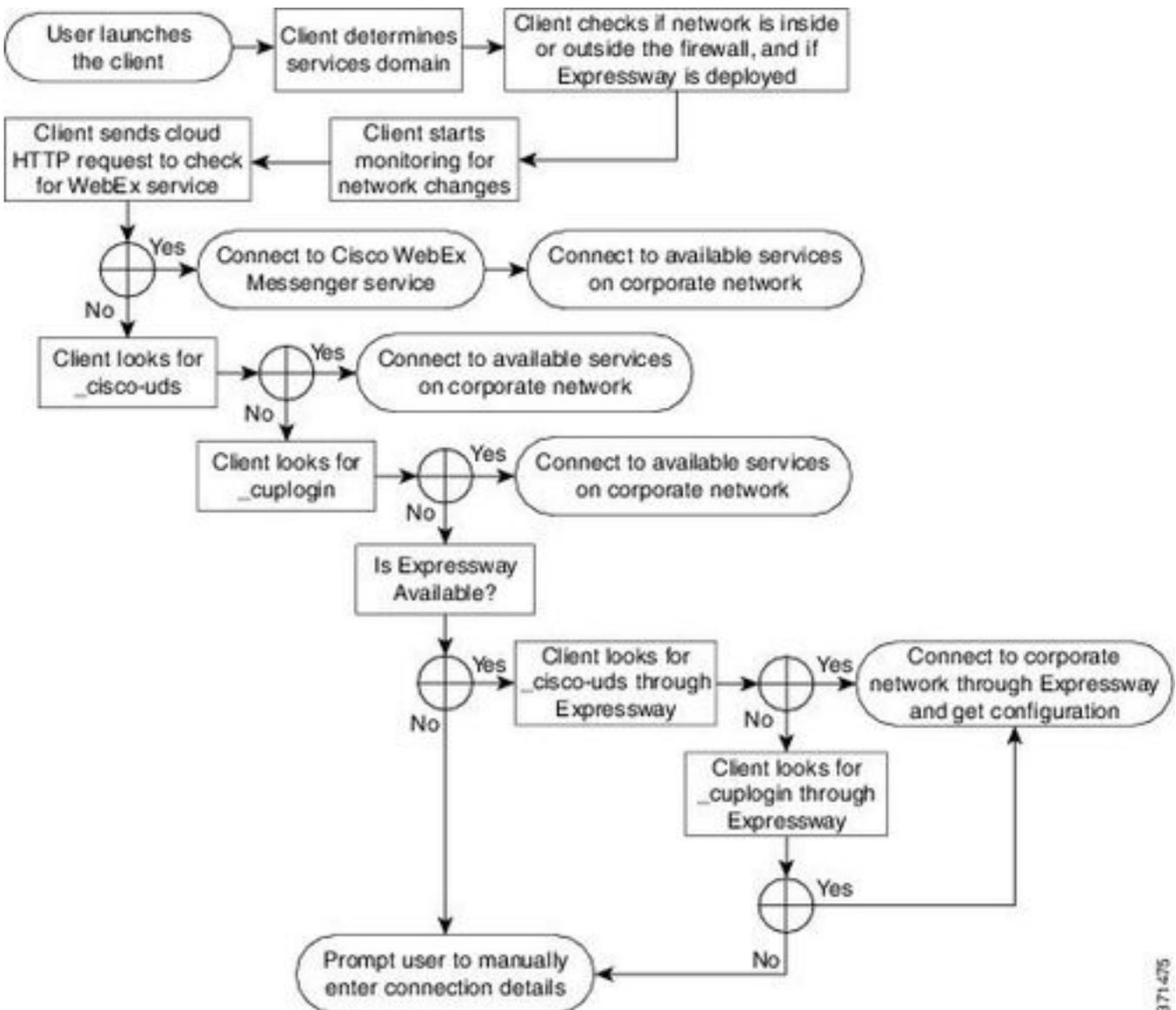
次に、追加するアクセスコントロールグループを検索し、アクセスコントロールグループ名の近くにあるチェックボックスをオンにします。完了したら、[Add Selected]ボタンを選択します。



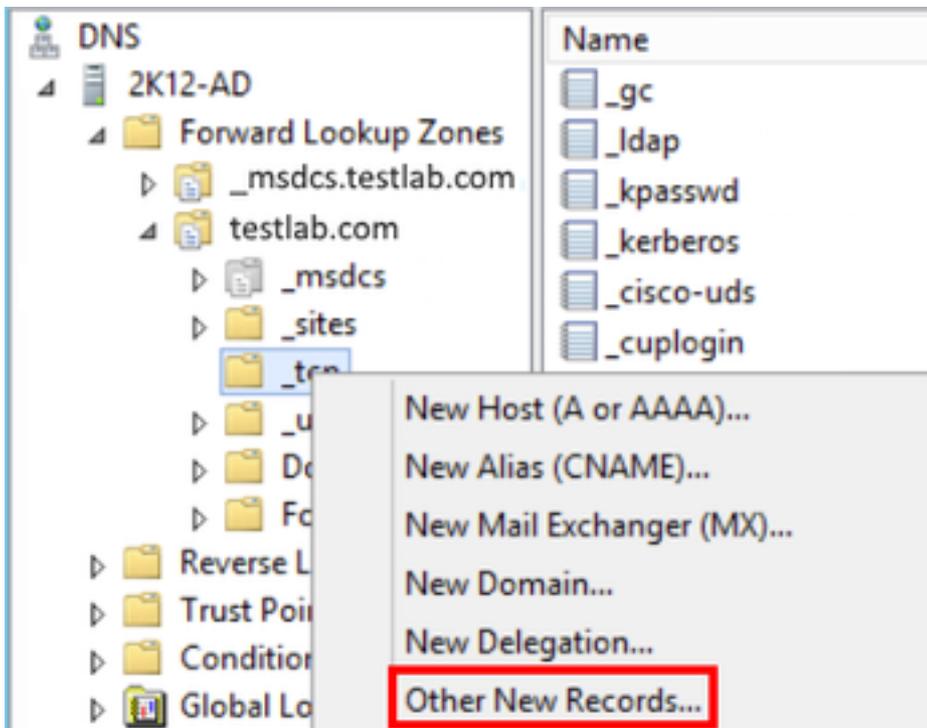
## サービスディスカバリ

Cisco Jabberクライアントがログインできるようにするには、まず、認証と設定の取得に使用するサービス ( CUCM、IM&P、またはExpressway ) を認識する必要があります。Domain Name System ( DNS ; ドメインネームシステム ) サービスロケーション(SRV)レコードを使用して自動サービス検出を設定することを推奨します。これは、シームレスなユーザエクスペリエンスと管理の容易さを提供するためです。

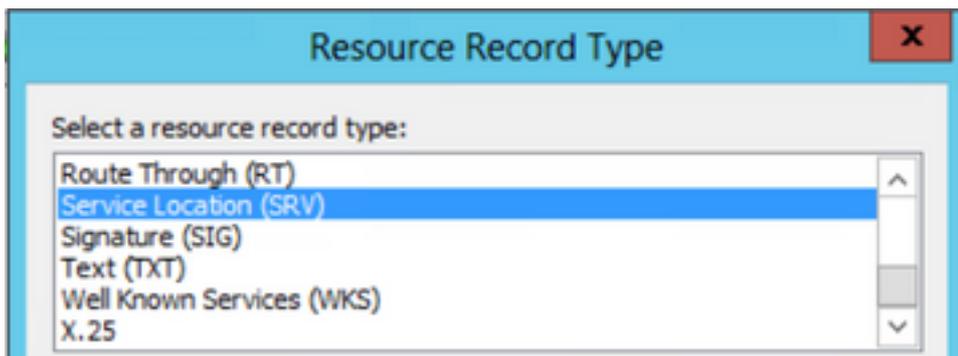
次の図は、Jabberの自動サービス検出プロセスを図示したものです。



DNS SRVレコードをMicrosoft DNS Managerに追加するには、ドメインに移動してツリーを展開します。\_tcpフォルダを右クリックし、[その他の新しいレコード...]を選択します。



[リソースレコードの種類]ウィンドウが表示されたら、[サービスの場所(SRV)]をハイライトし、[レコードの作成...]を選択します。



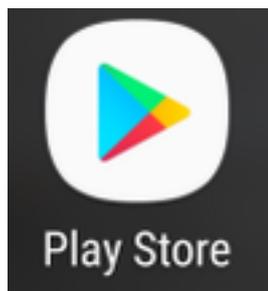
次に、[新しいリソースレコード]ペインが表示されます。ここでは、Jabbersの初期UDSホームクラスタルックアップに使用する各CUCMサーバのSRVレコードを設定します。

\_cisco-udsSRVレコードの設定例を次に示します。この例では、\_cisco-udsレコードはCUCMクラスタ内の3つのCUCMノードに解決されます。

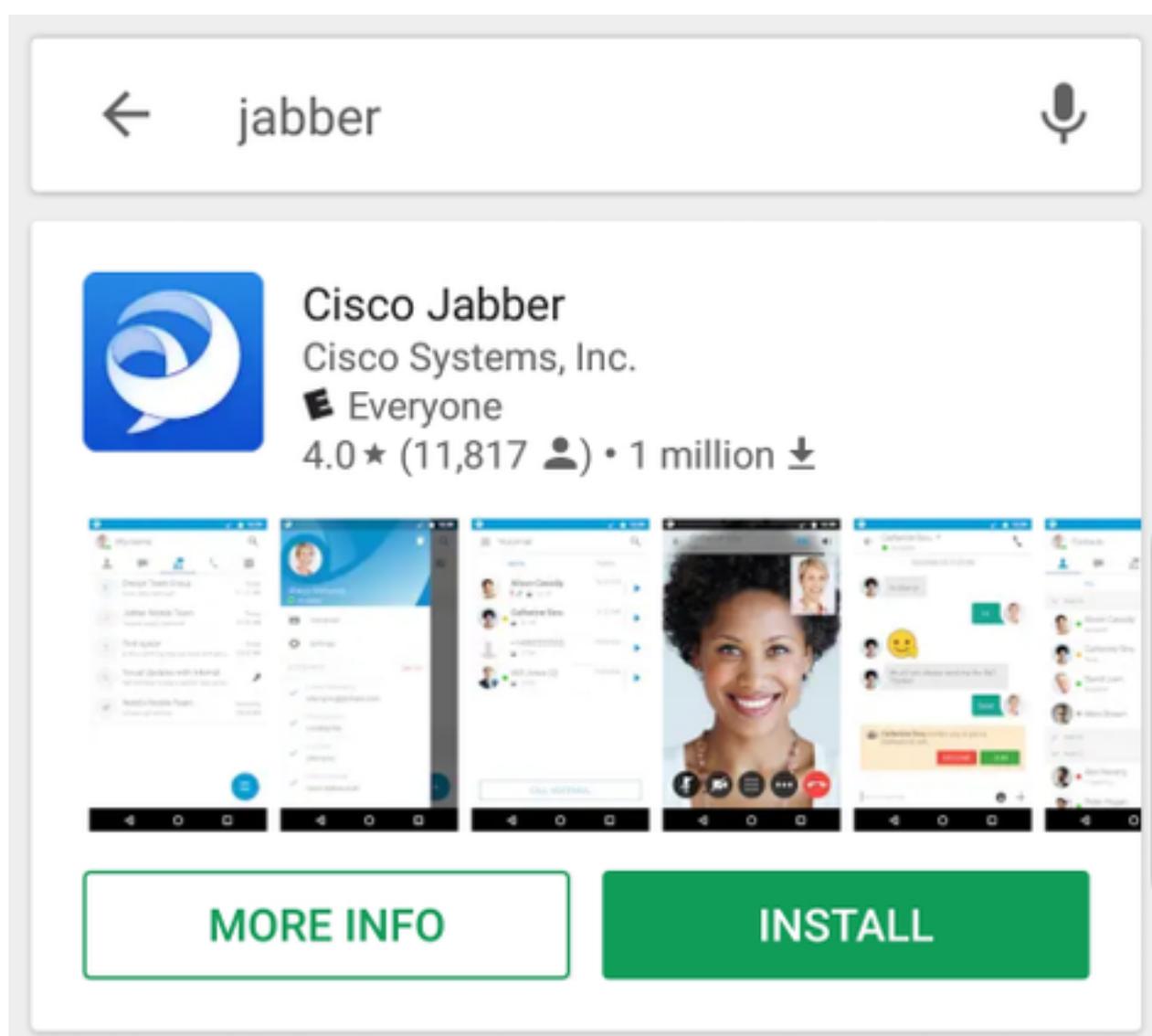
```
_cisco-uds._tcp.testlab.com      SRV service location:
    priority      = 6
    weight        = 30
    port          = 8443
    svr hostname  = cucm3.testlab.com
_cisco-uds._tcp.testlab.com      SRV service location:
    priority      = 2
    weight        = 20
    port          = 8443
    svr hostname  = cucm2.testlab.com
_cisco-uds._tcp.testlab.com      SRV service location:
    priority      = 1
    weight        = 5
    port          = 8443
    svr hostname  = cucm1.testlab.com
```

# Cisco Jabberのダウンロードとインストール

まず、AndroidデバイスでAndroid Playストアを開きます。



Play Storeアプリケーションで、Play Store検索バーを使用してJabberを検索します。Cisco Jabberアプリケーションが見つかったら、アプリケーションを選択し、インストールするオプションを選択します。

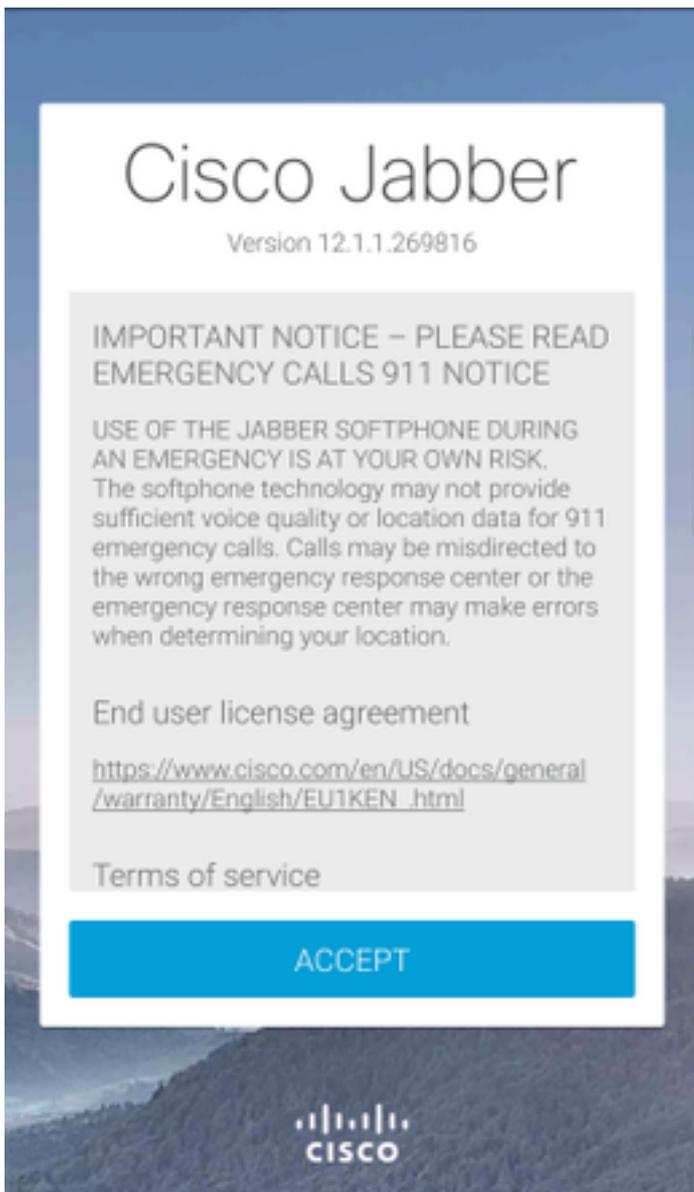


## Jabberへのログイン

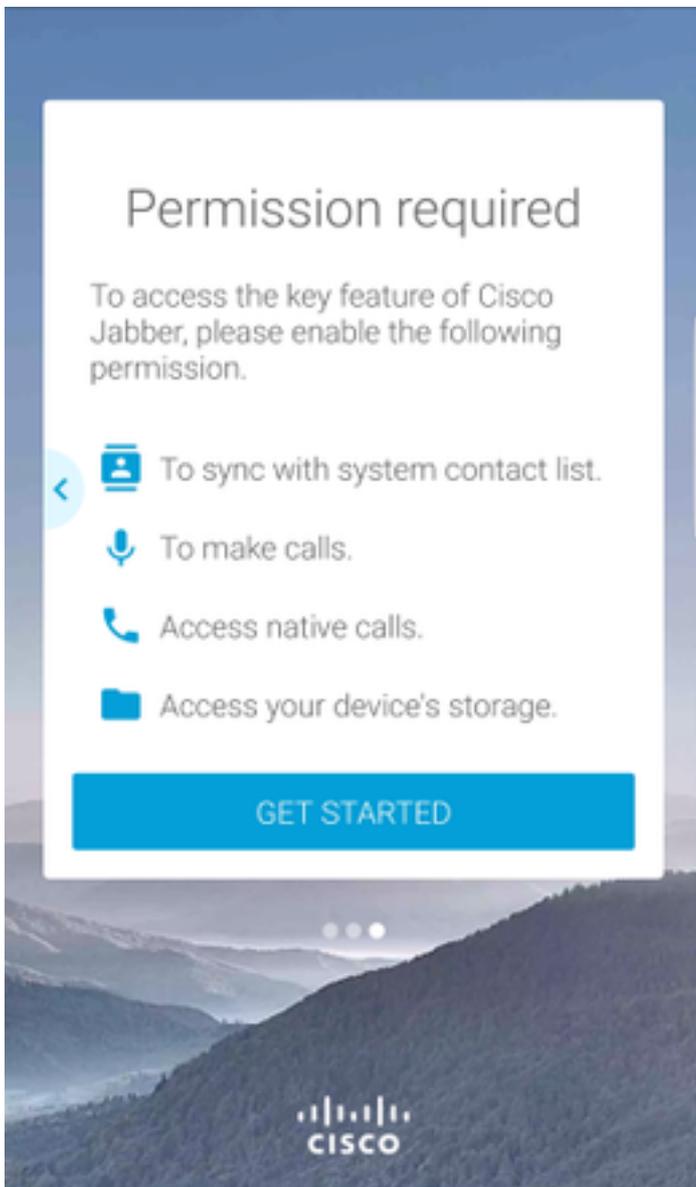
Jabber for Androidの初回ログインを実行するには、AndroidデバイスでCisco Jabberアプリケーションを見つけて起動します。



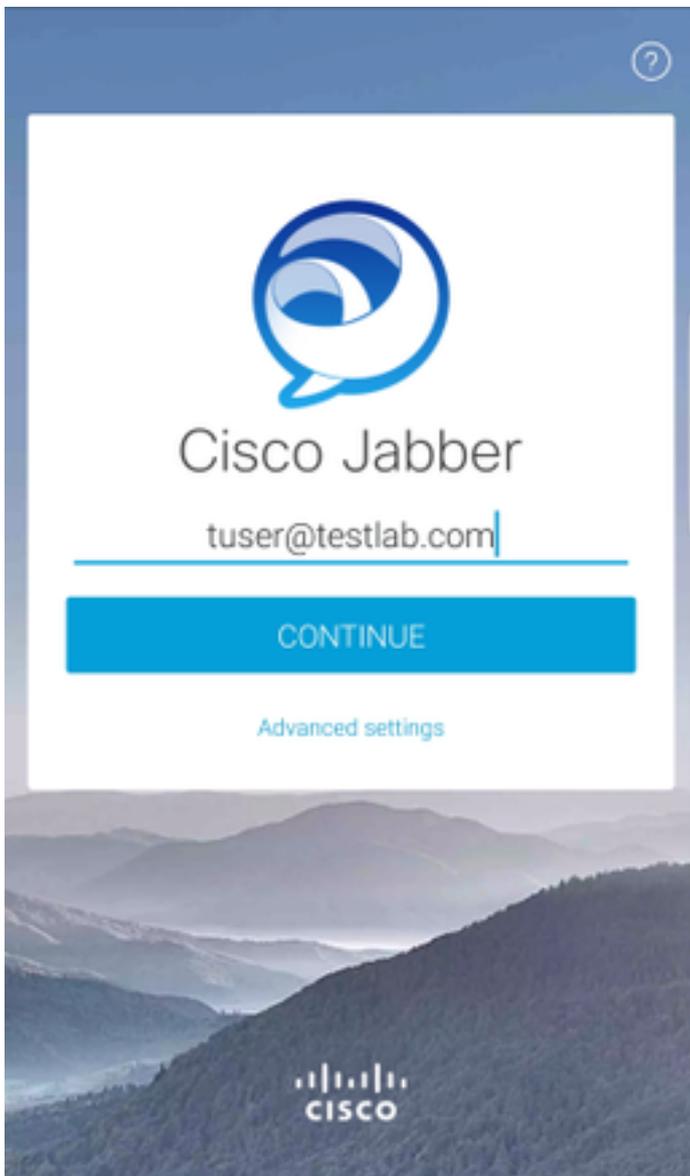
Jabber for Androidアプリケーションが起動すると、エンドユーザライセンス契約が表示されます。通知とサービス規約を読んでください。続行する場合は、[Accept]を選択します。



Jabberは、Androidフォンのネイティブの通話、連絡先、およびストレージ機能と統合する権限を要求します。これを受け入れ、Jabberログインを続行する場合は、[開始]を選択します。



次に、Jabberアプリケーションにサービス検出ログイン画面が表示されます。ここでは、サービス検出に使用するJabberユーザ名とドメイン（例）を指定します。tuser@testlab.com にあります）。ログインを続行するには、[続行]ボタンを選択します。



サービスの検出が終了すると、Jabberログのクレデンシャルを入力するように求められます。有効なJabberユーザ名とパスワードを入力し、[サインイン]を選択します。



# Sign in

Enter your username and password for CUCM IM and Presence or Phone Service.

tuser

\*\*\*\*\*

SIGN IN

